



赤麻小だより



令和2年度 第4号

令和2年6月16日

発行：栃木市立赤麻小学校長 印部 稔

【学校教育目標】 あかるい子 かしい子 たくましい子

令和2年度 第1回 学校運営協議会を開催

6月10日（水）第1回学校運営協議会が開催されました。本来はもう少し早く、5月27日に行う予定でしたが、5月いっぱいまで臨時休業だったため、2週間遅れての開催となりました。

主な内容は以下の通りです。

- ①委嘱状交付
- ②授業参観
- ③学校運営の基本方針の承認
- ④協議
 - ・授業参観の感想
 - ・新型コロナウイルス感染症への対応について
 - ・運動会について
 - ・赤麻小110周年記念式典について
 - ・下校ボランティア、放課後教室指導者について
 - ・小中一貫教育について
- ⑤給食試食

今年度の学校運営協議会の皆様です

- | | | |
|-----------|------|--------------|
| ◎会長 | ○副会長 | |
| 山士家 裕子 様 | | （下校ボランティア） |
| 石川 淳子 様 | | （主任児童員） |
| 田中 ひろみ 様 | | （地域コーディネーター） |
| 鯉沼 裕子 様 | | （地域コーディネーター） |
| ○知久 貴行 様 | | （あかまる隊隊長） |
| 高際 英俊 様 | | （PTA会長） |
| ◎藤野 喜代子 様 | | （元教員） |
| 印部 稔 | | （学校長） |

1年間よろしくお祈いします

学校運営協議会とは？

学校運営について学校とともに協議し、地域とともにある、特色ある学校づくりの推進に役立てるために、また保護者及び地域住民の理解、協力、参画等を推進するために開かれるものです。この学校運営協議会のある学校をコミュニティスクールといいます。

メンバーは保護者や地域住民の中から、校長に推薦され、教育委員会より任命された最大9名までの委員で構成されます。地域コーディネーター・校長も委員の一人です。

権限・機能は以下の3つです。

- ①校長が作成する学校運営の基本方針の承認をすること
- ②学校運営について教育委員会又は校長に意見を述べるができること。
- ③学校・家庭・地域の連携が促進されるように協議をすること。

【第1回運営協議会での主な意見・感想等】

<授業参観の感想>

- マスクを着けていると暑いので、エアコンをもっと使った方がよいのではないかな。
- 大型テレビを活用した授業が多く、授業内容も充実していた。こういった機器を使った授業を展開することで、パソコンへの関心が増すのではないかな。ただ、テレビの位置や角度によっては見えづらい児童もいたので、工夫してもらいたい。
- 1年生の授業に臨む態度が落ち着いていて感心した。
- 授業に補助で入っている先生のアシストが素晴らしかった。
- どの学級の授業も先生方の熱意を感じることができた。

<新型コロナウイルス感染症への対応について>

- 体調チェック等の日常生活、給食関係、清掃、各教科等の指導、学校行事等について校長より説明し、ご了解いただきました。

<運動会について>

- 児童、保護者、教職員のみでの参加で半日開催。昼食なしで終了。
- 3密にならない種目に絞って実施する。
- これらの点について説明し、ご了解いただきました。

<赤麻小110周年記念式典について>

- 記念行事として航空写真撮影、記念品配付、音楽鑑賞会を実施する予定であることをお伝えし、ご了解いただきました。

<下校ボランティア、放課後教室指導者、ボランティア募集について>

- 下校ボランティアは継続的な（毎日の）活動であるため、地域の方をお願いしづらい面

- がある。
- 下校ボランティアは学校から通知を出して保護者や地域に働きかけてはどうか。
- 放課後教室は学習指導を伴うのでハードルが高い。元教員の方や若い方をお願いしてはどうか。
- 現職の先生方のネットワークを活用してはどうか。
- 赤丸隊の方々にも呼びかけたい。
- 清掃や消毒のボランティアの日時、活動内容などをまとめて教えてもらえれば声を掛けやすい。




本校の今年度の学校経営

学校運営協議会で承認していただきました

学校教育目標 **あかるい子** **かしこい子** **たくましい子**

学校経営方針	栃木市名誉市民 山本有三の精神「生命・人権尊重・絆」を基盤とする教育
	1 学級経営の充実・・・自己肯定感の育成 特別支援教育や困難児を生かした指導の推進
	2 授業力・指導力の向上・・・学ぶ意欲の育成 個に応じたきめ細かい学習指導 アクティブ・ラーニングの推進
	3 道徳教育・人権教育の推進・・・いじめや差別を許さない心の育成
	4 地域とともにある学校づくりの推進・・・とちぎ未来アシストネットの活用 コミュニティ・スクールの推進 小中一貫教育の推進
5 同僚性の推進・・・「チームあかま」としての協働体制の強化 報・連・相・確の徹底	

R2学校課題 「わかる!」「できる!」を楽しみながら、考え表現する力を高める授業の創造
～ユニバーサルデザインの視点を取り入れた授業改善を通して～

<p>あかるい子 『優しさで向上心を持ち、自他を尊重できる子』</p>	<p>かしこい子 『自ら課題を見つけ、協働して学び合う子』</p>	<p>たくましい子 『粘り強く、最後までやりぬく子』</p>
<p>ア 基本的な生活習慣の定着 ☆あいさつ・返事の日常化 ○早寝早起き朝ご飯 イ 心豊かで、喜び合い、励まし合い、支え合う子どもの育成 ○道徳教育・人権教育の充実 ○特別支援教育の視点からの教育の充実(教室環境・人的環境のユニバーサルデザイン化) ウ 学校や地域社会を愛し、地域とともに成長する子どもの育成 ○地域の歴史、伝統、自然を大切にする心育の育成 ○地域の教育力を生かした特色ある教育活動の推進 (とちぎ未来アシストネットの活用) ◆R2、3年度 栃木市教育委員会指定 道徳教育推進形学校 (磯岡一中ブロック4校)</p>	<p>ア 基礎的・基本的な学習内容が確実に身についた子どもの育成 ◎ 基礎的・基本的な知識・技能の習得(さわやかラーニングタイムの充実) ◎特別支援教育の充実(授業のユニバーサルデザイン化) イ 学習意欲があり、主体的に学び合う子どもの育成 ◎学び合いによる学習の推進 ○ふささと学習の充実 ☆家庭学習の充実 ウ 学習意欲を高めるためのわかる授業づくりと学業指導の充実 ◎学業指導の充実(聴く姿勢の徹底・立腰で集中力アップ) ◎学習意欲を高めるための授業の工夫(一人一研究授業の実施・見せ合う授業の実施)</p>	<p>ア 健康で安全な生活態度や習慣が身についた子どもの育成 ○教育相談の充実 ○食育の充実 ○清掃指導の強化 イ 運動に親しみ、進んで体力の向上に努める子どもの育成 ☆楽しく活力ある体育授業の工夫 ウ 失敗を恐れず、粘り強くやり抜く子どもの育成 ○挑戦する機会の充実 ○成功体験からの自己肯定感の育成</p> 

※◎学校課題との関連 ☆小中一貫教育との関連

本校ならではの教育
「地域の教育力を生かし、地域の中に生き、地域と一体となった教育」